

令和5年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価 小規模多機能ホーム よいやんせ

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月28日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口
大木・松木・上村・上西誠・柳田・橋口・東郷
小川卓・小川や

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	13人	1人	人	14人

前回の改善計画
利用開始前や利用開始直後の情報は出来るだけ具体的にケース記録に残す。
全体ミーティングの際に再度、職員間の意思統一を徹底する。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用開始直後のケース記録には、ある程度、詳しい記録がしてあったが、一部の職員に限っており、全体としては、不足している。全体ミーティングでは、職員間の意思統一を行っていた。ケアに活かせていない状況もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	12			14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	2		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	11	1		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8	6		14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用開始前や開始後は全体ミーティングや職員同士で情報共有を行い、本人や家族が必要な支援内容を確認している。
通所・訪問・宿泊に不安な利用者様には不安を取り除けるような声掛けなどの対応ができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
家族との関係性は直接会って話す機会が少ない為、最小限の関係づくりしかできなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
利用開始時の利用者様・家族の不安を取り除けるように声掛け・対応を行う。
利用開始前後の情報は具体的にケース記録に残す

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月28日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口
大木・松木・上村・上西誠・柳田・橋口・東郷
小川卓・小川や

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	7人	2人	14人

前回の改善計画
 実践した事は全職員で情報を共有し、全体ミーティング時に報告・今後の課題・反省を行っていく。コロナ禍を理由にせず現状出来ることに目を向け実践していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 コロナが5類になったことを受けて、少しずつ外部との交流も増やしていつている。認知症の進行などで表出が難しく「～したい」を引き出すことに難しさを感じる。実践したことも、果たして本当に本人の希望だったのか? ケアする側の自己満足になっていないか? 要検討である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	6	4	2	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	4	2	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	7	3	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	2	9	2	14

出来ている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 職員個別に利用者様の担当を受け持つことで担当の利用者の目標を意識した関わりが出来ていた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 全利用者の目標「ゴール」を把握することが出来なかった。
 コロナ禍を理由にして「～したい」を実践することが出来なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 利用者の目標を研修や全体ミーティングで把握するようにして、全職員が目標を意識して関わるようにしていく。本人のこれまでの生活歴、環境など再度、しっかり情報収集し、日ごろのかかわりの中での会話の端々から「～したい」を引き出す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月28日

3. 日常生活の支援

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口
大木・松木・上村・上西誠・柳田・橋口・東郷
小川卓・小川や

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	6人	7人	1人	14人

前回の改善計画
利用者様の状態・状況の変化時は、職員間で情報共有し、現状ベストなケアを検討して実践していく。各担当が各利用者様の病歴や生活歴等の研修を行い、再度情報を共有して、普段のケアに役立てていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
日々、変化している利用者様の状態は、家族やスタッフ間で情報共有できていたが、全スタッフが把握し、ケアに活かせていたかは十分とは言えない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		2	10	2	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	10			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		8	5	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	8	4		14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	8	4		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	職員全員が情報を共有することで利用者様の状態・状況に合わせた介助を検討し、実践が出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	全利用者様の以前の暮らし方を10個も把握できていない。 状態・状況が変化しない利用者様の情報が疎かになっていた。 情報共有は出来ていたがケアの統一が出来ていないことがあった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	各担当が各利用者様の病歴や生活歴等の研修を行い、再度情報を共有して、普段のケアに役立てていく。研修やミーティングを通じて統一したケアが出来るようになっていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令5年6月28日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口
大木・松木・上村・上西誠・柳田・橋口・東郷
小川卓・小川や

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	8人	4人	1人	14人

前回の改善計画	送迎・訪問を全職員出来るようにしていく。送迎時などご家族とコミュニケーションがとれるように努力する。
前回の改善計画に対する取組み結果	送迎や訪問の機会が少ないスタッフもいた。家族とのコミュニケーションはとれていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		10	4		14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		5	9		14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		7	6	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1	10	3	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者様・ご家族との会話や記録物等でどのように過ごしているかを把握することが出来た。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 訪問・送迎に固定の職員が行くことで他職員が行けていない。（勤務時間や勤務形態が違う為） 今の暮らしに必要な民生委員や地域資源等を把握できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域資源の把握。 利用者がどのような暮らしをしているのか研修やミーティングをして把握し、支援に役立てる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月28日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口
大木・松木・上村・上西誠・柳田・橋口・東郷
小川卓・小川や

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	4人	2人	14人

前回の改善計画	訪問支援に全職員行けるようにする。訪問支援のスキルアップや緊急時の対応策などの研修を行い、不安なく支援出来るようにしていく
前回の改善計画に対する取組み結果	勤務時間等の都合で、訪問支援に行けないスタッフもいた。訪問支援のスキルアップや緊急時対応の研修はできなかったが、緊急時の連絡等のマニュアルはできており、それに従って対応できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	8	2	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	12			14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	10	2		14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	8	3		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者様や家族からの要望を聞き、状態・状況に合わせた支援を行うことが出来た。 記録・ミーティング等を通じて利用者様の状態変化等の情報共有を行うことが出来た。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 緊急時の対応策などの研修が出来ていない。 地域の方と接する機会があまりない為、地域資源を使っでの支援が出来ていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) どのような地域資源があるのか把握する。 利用者の健康状態を把握し、日々の関わりの中での変化にいち早く気づき、変化に合わせて支援していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月28日

6. 連携・協働

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口
大木・松木・上村・上西誠・柳田・橋口・東郷
小川卓・小川や

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4人	5人	5人	14人

前回の改善計画
コロナ感染対策を意識したうえで地域活動に参加する。 役員が参加したネット会議の内容は全体ミーティング時に情報を共有していく
前回の改善計画に対する取組み結果
役員の参加した会議等の内容は、現場のスタッフに必要とされるものは復命した。コロナが5類になったことを受け、地域の活動にも参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？			5	9	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			2	12	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	1	11	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		5	5	4	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	コロナの影響もあるが出来る範囲でのイベントや会議には参加出来ていた。 地域の方々は散歩やボランティアの際に訪れる事があった。幼い子供を連れて、ヤギや鶏を観に来られ、交流することもあった。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	会議や地域の活動には役員は参加していたが個人的に参加することは無かった。 個人的に参加出来る会議やイベントが無かった。 スタッフの人数の関係で、会議に参加できないことが多々ある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	担当者会議等職員が個別に参加できる会議・イベント等に積極的に参加する。担当者会議には、スタッフのやりくりをしてできるだけ参加してもらう。 役員が参加した会議などの情報で必要なものは、全体ミーティングや申し送り等を使用して情報共有をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月28日

7. 運営

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口
大木・松木・上村・上西誠・柳田・橋口・東郷
小川卓・小川や

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	6人	5人	3人	14人

前回の改善計画	意見交換の場を作る。意見を言いやすい環境作り。 今後の社会情勢を見てから、地域の方との交流の場を増やしていく。（コロナ終息後などに）
前回の改善計画に対する取組み結果	管理者との個人面談は、毎月1回以上は行っている。全体ミーティングなどでは、決まったスタッフの発言が多く、みんなの意見を吸い上げることはできていない。運営推進会議は、コロナ5類移行後、集会しての開催にしている。事業所の運営状況や地域の困りごとなどその場で話すことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	1	3	7	3	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		8	6		14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		9	4	1	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		3	9	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者様のケアの事や業務の改善点などはミーティングを通じて伝える事が出来ていた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域と協働した取組みに何があるか分からない為、出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 意見を言いやすい環境を作る。主任などが間に入り意見交換する。 状況に応じて地域交流の場を増やしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月28日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口
大木・松木・上村・上西誠・柳田・橋口・東郷
小川卓・小川や

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	8人	3人	3人

前回の改善計画
コロナ禍が続いている為、状況に応じてリモート会議をできるように環境整備を行う。
事故報告書を元にリスクマネジメントの研修を行い、事故を未然に防ぐための予測・準備が迅速に出来るようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ5類後、対面での研修を行うようにしている。自ら外部研修に参加したスタッフもいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	8	2	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	8	4	14
③	地域連絡会に参加していますか				14	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	6	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職場内外の研修はコロナ渦も落ち着いてきた為、参加出来ていた。
事故報告書・ケース記録・職員間での話し合いでリスクを事前に把握してリスクマネジメントに取り組むことが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の連絡会に参加できていない。
どのような資格を取ればいいのか分からないために資格取得の研修に参加することは無かった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
事故報告書などの事例を使用して研修を行い、事故を未然に防ぐための予測・準備が迅速に出来るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年6月23日

9. 人権・プライバシー

メンバー 森島・中村・上西歩・池上・濱田・横原・山口
大木・松木・上村・上西誠・柳田・橋口・東郷
小川卓・小川や

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	4人	人	14人

前回の改善計画	プライバシーの保護を徹底して行う。身体拘束の廃止やプライバシーの保護を念頭において日々のケアを行う。成年後見制度については再度研修を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	プライバシーの保護、身体拘束については研修を行い意識向上に努めることができました。成年後見制度についての研修はできませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	6			14
②	虐待は行われていない	11	3			14
③	プライバシーが守られている	2	11	1		14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	4	2	5	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	7	4		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束・虐待・プライバシー保護は研修も行き、日頃から気を付けている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者様の状態・状況を他利用者様が聞こえる場所で伝達しており、適切な情報管理が出来ていなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 再度プライバシー保護の研修を行い、常日頃からプライバシー保護について意識づけしていく。 成年後見制度については研修を行う
---------------	---

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6	0	1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6	0	1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	5	1	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5	0	2

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

・この評価は、常時いるスタッフは分かると思うが、年に数回しか来ない委員にとっては事業所内のことは分からない。（この様式で出さないといけないから記入するが。）

【前回の改善計画】

事業所評価の作成がマンネリ化しており、もっとケアに活かせるようなしくみを考え実行する。

※ 前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

・この様な計画に前向きに取り組まれ、笑顔で利用者の方に接し、頑張っている姿に感謝です。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

サービス評価の取り組みを通して、事業の質の向上に努める。（訪問のスキルアップ）

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	3
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5	0	2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5	0	2
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議に来て、自事業所の参考にさせてもらっている。(季節に合わせたしつらえは、利用者に季節を感じてもらうのに有用)
- ・初めて事業所に来た時に、施設というより自宅という感じで入りやすかった。利用者さんも入りやすだろうなと思った。

【前回の改善計画】

- ・よいやんせ意思統一事項の周知徹底
- ・子どもたちがいつでも遊びにこれるように前庭の環境を整える。

※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

年度初めに意思統一事項の周知徹底は行った。少しずつですが子どもたちとの交流もすることができた。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・開放されており騒音や悪臭もなく自然が多く畑もあり居心地が良い
- ・相談しやすい造り、環境だと思います。

【今回の改善計画】※後日記入

定期的にイベントの開催、ゲル、前庭の開放を行い地域の方々とも積極的に交流する。挨拶、身なり等の接遇研修もミーティング時に開催する。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	3
1	職員はあいさつできていますか？	6	0	1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6	0	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4	0	3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	1	1	5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・コロナ5類後、地域の老人クラブの行事も再開したが、まだ感染が落ち着かない状況なので、利用者さんの参加はなかった。グランドゴルフは、天気の良い日は毎日あるので、いきたい人はいつでも参加できるようにしている（公民館長）
- ・先日、霧島市で地域のサロンの話があった。西原と十三塚で開催できたらいいなと三好民生員と話をしている（服部民生委員）
- ・認知症カフェをしている。8～9人くらい遊びに来られている。今来ている方は、比較的元気な方で地域のサロンの延長になっているが、参加者同士で仲良くなって、食事に行ったりしている。認知症の話や栄養の話を聞きたいとか希望に合わせて講師を呼んで実施している。来ている人で何をやりたいか決めている。
- ・社協で出前講座のメニューもありそう。

【前回の改善計画】

相談しやすい事業所を目指し、出前相談会などを積極的に開催する。

※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・出前相談会はできなかった。
- ・地域の困りごと相談にも門戸をひらき相談しやすい事業所であると思います。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

・事業所と地域のイベント双方に参加ができれば関りも持て、お互いを理解できるのではと思います。

【改善計画】※後日記入

事業所、地域、お互い双方の行事に関り、地域との関係を深める。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4	0	3
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3	1	3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	4	1	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3	0	4

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、何もかもがストップしてしまった。 ・利用者以外の高齢者に対する目配り、気配りに頭が下がります。
<p>【前回の改善計画】</p> <p>コロナと共存する意識をもち、行事も感染対策をしっかりとしながら開催していく。</p> <p>※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見</p>
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事も年間計画通り実行することができた。 ・利用者様のそれぞれの環境を把握し、援助されていると思います。
<p>【改善計画】※後日記入</p> <p>利用者様の社会資源を活用し個別に支援をする。</p> <p>(地元での敬老会、グランドゴルフ、美容室、墓参り等に参加)</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6	0	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3	0	4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5	0	2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	2	0	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・認知症ディケアは年に2回なので、負担は少ないのだが、毎回、やり方には苦慮する。
(みそめの里：石野田氏)

【前回の改善計画】

今のところ書面での報告になりますので、配布するときになるべく訪問して個別に意見交換をする。

- ※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見
書面開催は1回のみで事業所で開催することができた。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・事業所のみならず、地域のつながりも強くとても熱心な取り組みをされていると思います。

【改善計画】※後日記入

事業所、地域の困りごとの解決の場として活用していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7	0	0
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	1	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3	0	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	5	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4	0	3

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <p>・1次避難所は崎森地区公民館 2次避難所は陵南小学校になるが、利用者を避難させられるか？という問題がある。</p>
<p>【前回の改善計画】</p> <p>台風10号の影響により停電になり発電機の必要性を実感しました。導入を検討する。</p> <p>※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見</p> <p>発電機を設置し活用中である。</p>
<p>【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】</p>
<p>【改善計画】※後日記入</p> <p>BCP(業務活動計画)を完成させ全スタッフに周知する。 (定期的に訓練を行う)</p>

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ネバーランド	代表者	小川 卓也	法人・ 事業所 の特徴	①暮らしに必要な「農」の空間が広がり、無農薬の野菜や米、卵を自給自足しており、安心安全でおいしい食の提供を目指している。 ②その人らしい暮らし方を家族、主治医、地域の方等と共に支え、最後までその地域で暮らせる支援を目指す。 ③地域の店舗への出荷、老人クラブや子ども会との交流、地域のひろば事業などの展開で地域に開かれ、地域の方に親しみやすい事業所を目指している。
事業所名	小規模多機能ホーム よいやんせ	管理者	小川 卓也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	2人	人	1人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所評価の作成がマンネリ化しており、もっとケアに活かせるようなしくみを考え実行する。	この様な計画に前向きに取り組まれ、笑顔で利用者の方に接し、頑張っている姿に感謝です。	この評価は、常時いるスタッフは分かると思うが、年に数回しか来ない委員にとっては事業所内のことは分からない。0	サービス評価の取組みを通して、事業の質の向上に努める。 (訪問のスキルアップ)
B. 事業所のしつらえ・環境	・よいやんせ意思統一事項の周知徹底 ・子どもたちがいつでも遊びにこれるように前庭の環境を整える。	年度初めに意思統一事項の周知徹底は行った。少しずつですが子どもたちとの交流もすることができた。	初めて事業所に来た時に、施設というより自宅という感じで入りやすかった。利用者さんも入りやすいだろうと思った。	定期的にイベントの開催、ゲル、前庭の開放を行い地域の方々とも積極的に交流する。挨拶、身なり等の接遇研修もミーティング時に開催する。
C. 事業所と地域のかかわり	相談しやすい事業所を目指し、出前相談会などを積極的に開催する。	・出前相談会はできなかった。 ・地域の困りごと相談にも門戸をひらき相談しやすい事業所であると思います。	事業所と地域のイベント双方に参加ができれば関りも持て、お互いを理解できるのではと思います。	事業所、地域、お互い双方の行事に関り、地域との関係を深める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナと共存する意識をもち、行事も感染対策をしっかりとしながら開催していく。	・行事も年間計画通り実行することができた。 ・利用者様のそれぞれの環境を把握し、援助されていると思います。	・コロナ禍で、何もかもがストップしてしまった。 ・利用者以外の高齢者に対する目配り、気配りに頭が下がります。	利用者様の社会資源を活用し個別に支援をする。 (地元での敬老会、グランドゴルフ、美容室、墓参り等に参加)
E. 運営推進会議を活かした取組み	今のところ書面での報告になりますので、配布するときなるべく訪問して個別に意見交換をする。	書面開催は1回のみで事業所で開催することができた。	・事業所のみならず、地域のつながりも強くとても熱心な取組みをされていると思います。	事業所、地域の困りごとへの解決の場として活用していく。
F. 事業所の防災・災害対策	台風10号の影響により停電になり発電機の必要性を実感しました。導入を検討する。	発電機を設置し活用中である。	1次避難所は崎森地区公民館 2次避難所は陵南小学校になるが、利用者を避難させられるか？という問題がある。	BCP(業務活動計画)を完成させ全スタッフに周知する。 (定期的に訓練を行う)